

「ひろしまものづくりデジタルイノベーション」創出事業（一部国庫）

1 目的

産学官の連携の下、大学での先端的な研究及び高度専門人材の育成と地域の中核的な産業を結びつけることで、地域産業の更なる振興と人材の育成及び集積の好循環を起こし、地域活力の向上と持続的な発展を図る。

2 事業内容

産学官で構成する会議体の下、大学での先端研究の環境整備の支援、研究成果を検証・実証する環境の整備、高度専門人材育成の支援等を行うことで、ものづくりのプロセス全体のデジタル化の推進に取り組み、県内産業の生産性向上と付加価値増大を図る。

(単位：千円)

区 分	内 容	予算額
先端研究への支援	<ul style="list-style-type: none"> ○ 多機能複合材料の研究開発と社会実装への展開 ○ データ駆動型制御やデータ解析技術などを活用したスマートシステムの開発と製造業への展開 (上記2項目に係る) 研究者の招聘, 人員体制の整備, 研究環境の整備 ○ 海外機関との共同研究の実施 	980,700
実証環境の整備	<ul style="list-style-type: none"> ○ 開発した材料やシステムを実証する環境(テストベッド)の整備(整備計画の策定, 機器類の導入) 	30,000
人材育成	<ul style="list-style-type: none"> ○ 広島大学等県内大学を活用した高度専門人材の育成 ・デジタル化の徹底によって、商品や顧客等を見える化する生産性向上プログラムの講座等を社会人向けに実施 (実践エクステンションプログラム) 	53,800
会議体の運営	<ul style="list-style-type: none"> ○ 事業管理のための会議体運営 主宰者：広島県知事, 事業責任者：マツダ(株) 	7,000
合 計		1,071,500

3 成果目標

- ・モデルベース開発等の導入企業数(累計)(R元目標)10社 ⇒ (R9目標)90社
- ・研究プロジェクトへの参画者数(R元目標)20人 ⇒ (R9目標)180人
- ・エクステンション・プログラムの受講者数(R元目標)27人 ⇒ (R9目標)72人